

令和 2年度

事務事業評価表 (令和元年度の実績評価)

記入年月日  
令和 2 年 4 月 1 日

事務事業名		消防団火災出動・火災警戒出動事業					事業区分		担当	
							新規/継続	継続	事務事業No.	030102000678
							単独/補助	単独		
									所属課	020801
									課長名	
									グループ	
									担当者名	
政策体系上の位置付け							事業期間			
総合計画の施策名		0301 消防・防災対策の充実					単年度繰返し (年度~)			
政策名		03 安全安心な暮らしのまちづくり								
施策名		01 消防・防災対策の充実								
手段名		02 ②消防防災体制の強化								
財務会計上の位置付け							事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計			
	01	09	01	02	01	00	非常備消防事業			
法令根拠							期間限定の場合、総投入量を (3) 投入量の右側に記入			

【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)

(1) 事務事業の概要

手段	①事務事業の概要 (事務事業の全体像)	②担当者が行う業務の内容・やり方・手順
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災発生時に分団は参集基準により現場へ参集し、消火活動を実施する。消防団本部は現場指揮本部または現場付近で分団の指揮命令に当たる。鎮火したのち、全員現場指揮本部付近へ集まり、参集人数を報告し、現場指揮責任者の訓示を受ける。</li> <li>・不審火などが発生した際は、警戒期間を設定し対象地区を担当分団が巡回する。また、各地区から行事 (どんど焼き、芝焼き等) の際に警戒の依頼があるので、担当分団は現場で火災の警戒に当たる。</li> <li>・台風などの接近で風水害の恐れがある時は、消防団本部の指示により被害に備え分団がそれぞれの詰所へ待機する。</li> <li>・風水害発生時は消防団本部の指示により分団が現場へ赴き、必要な応急対策を実施する。</li> <li>・地震が発生し被害が大きいと思われる時は、消防団本部の指示により分団が</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・火災出動・・・現場へ赴き、火災発生箇所、水利箇所、ホースの接続状況、出動人数を確認し、後日消防署へ消防団の出動状況を報告する。</li> <li>・風水害及び地震災害出動・・・消防団本部が参集する各庁舎へ同席する。被害の取りまとめを行い職員のみでは対応できない事案が発生した場合は消防団本部へ報告し、応急対策を実施してもらう。</li> <li>・出勤手当支給・・・条例に基づき消防団員の出勤種別回数に応じて手当支給の手続きを行う。火災及び災害の日時と出動した分団、人数を把握しておく。</li> </ul>

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移

①手段 (担当者の活動内容)	④活動指標 (活動量を表す指標)	単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・火災及び災害時の消防団活動の記録、消防団との連携	火災出動回数	回	23.00	15.00	20.00	20.00	20.00
	風水害出動回数	回	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	地震災害出動回数	回	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
			0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
②対象 (誰、何を対象にしているのか)		単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・火災及び災害現場	火災発生件数	件	23.00	15.00	30.00	30.00	30.00
	風水害発生件数	件	2.00	2.00	3.00	3.00	3.00
	地震災害発生件数	件	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00
③意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		単位	30年度	01年度	02年度	03年度	04年度
			(実績)	(実績)	(計画)	(目標)	(目標)
・火災を最小限に抑える。 ・災害による被害箇所を現状復旧する。	消火活動件数	件	7.00	8.00	30.00	30.00	30.00
	風水害現場応急対策実施件数	件	2.00	3.00	3.00	3.00	3.00
	地震災害現場応急対策実施件数	件	0.00	0.00	1.00	1.00	1.00

(3) 投入量 (事業費) の推移

投入量	事業費内訳	単位	30年度	01年度	02年度	期間限定総投入量
			(実績)	(実績)	(計画)	
入	国庫支出金	千円	0	0	0	0
	県支出金	千円	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0
	使用料・手数料	千円	0	0	0	0
	その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	14,674	11,441	12,275	0
	事業費計 (A)	千円	14,674	11,441	12,275	0
正規職員従事人数	人	3.00人	3.00人	3.00人		

事業費の内訳	01年度事業費 実績 (千円)			02年度事業費 予算 (千円)		
09 旅費	11,441			12,275		
合計	11,441			12,275		
合計					12,275	

事務事業名	消防団火災出動・火災警戒出動事業	事務事業No.	30102000678	所属課	防災課
(4) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか？ 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>消防団は火災や風水害、その他の災害現場で生命、身体及び財産の救護に当たり、損害を最小限度にとどめて災害の防御及び鎮圧に努める責任を負っており、設置当初からこの活動を行っている。</li> <li>社会の就業形態が変化していく中で、消防団員の会社員の占める割合が増加しており、日中の火災及び災害時の出動人員の確保が困難になってきている。</li> </ul>					
(5) この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者）からどんな意見や要望が寄せられているか？					
<ul style="list-style-type: none"> <li>消火活動を迅速に行えるよう、常備消防との連携を密にし、協力体制を強化してほしいという意見がある。</li> </ul>					

【See】 2. 評価の部 \*原則は事前評価。

評価項目	
改革改善を行う	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか？意図することが結果に結びついているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 結びついている <ul style="list-style-type: none"> <li>火災や災害発生時はまず第一に住民の命を守らなければならないので、消火活動や応急対策を実施することは安全で安心して暮らせる生活環境づくりに結びつく。</li> </ul>
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか？税金を投入して、達成する目的か？) (法定受託事業はその名称)
	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当である <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団が常設消防と協力して火災や災害現場で対応することで、市民の安全と安心が守られるため市が行うことは妥当である。</li> </ul>
効率性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか？成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか？何が原因で成果向上が期待できないのか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある <ul style="list-style-type: none"> <li>日中の出動人員の確保が困難になってきているため、機能別消防団員の確保や市役所職員の入団促進を検討し行っていくことで、日中の出動人員を確保し火災及び災害対応の効率化や迅速化が図れる。</li> </ul>
公平性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 影響有 <ul style="list-style-type: none"> <li>常設消防だけでは活動に限界があるため、消防団の活動は欠かせないものである。</li> </ul>
公平性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性がありますか？(市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名
	<input checked="" type="checkbox"/> 余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>常設消防と連携を密にすることにより、現場での対応能力が向上するとと思われる。日頃の訓練においても常設消防と一緒に実施することでその効果が期待できる。</li> </ul>
公平性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか？やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない <ul style="list-style-type: none"> <li>事業費は各種出動に伴う費用弁償であるのでその回数が減らない限り、削減の余地はない。</li> </ul>
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか？受益者負担が公平・公正になっているか？)
	<input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である <ul style="list-style-type: none"> <li>市民の安全と安心を守るための事業であり、市が負担することは妥当である。市内における火災や災害の発生時には、地区や場所に関係なく活動を行うので、すべての市民が受益者であり特定の受益者はいない。</li> </ul>

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性 (次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果		(2) 全体総括(振り返り、反省点)																			
①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	⇨	日中の出動人員確保が課題となっており、機能別消防団員や市役所職員を確保することで対応していくことが考えられる。また、現場での対応能力向上のため、常設消防と共に訓練を行うことが市民の安全と安心を守るため必要である。																			
(3) 今後の事業の方向性		(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要)																			
<input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持		(複数回答可) <input type="checkbox"/> 目的の再設定 <input type="checkbox"/> 効率性の改善 <input checked="" type="checkbox"/> 有効性の改善 <input type="checkbox"/> 公平性の改善 <input type="checkbox"/> 統廃合ができる <input type="checkbox"/> 連携ができる																			
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策		<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2">成果</th> <th rowspan="2">向上 維持 低下</th> <th colspan="3">コスト</th> </tr> <tr> <th>削減</th> <th>維持</th> <th>増加</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td>○</td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </tbody> </table>		成果	向上 維持 低下	コスト			削減	維持	増加				○	×			×	×	×
成果	向上 維持 低下	コスト																			
		削減	維持	増加																	
			○	×																	
		×	×	×																	
地元で仕事に従事している人が減少していることに加え、人口自体も減少しているため、消防団員の確保が今後困難になっていくことが予想される。火災予防意識の啓発と共に消防団への入団促進の施策を展開する必要がある。		(6) 事務事業優先度評価結果																			
		成果優先度評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> ⑧																			

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合)
課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A: 継続(現状維持) C: 終了、廃止、休止 B: 継続(改革改善を行う) D: 2次評価へ提出	確認欄 <input type="checkbox"/>